

『教科書構造汚職を糾弾し、

告発する会』設立の趣旨

平成二八年四月から使用される教科書検定と、採択において、多数の出版社が教育委員会課長、指導主事、校長、教員らにそれぞれ数万円の現金や物品を渡していたことが新聞ですでに報道されておりである。受領した人数が約四千人であることからしても総額は優に五千万円を超えていると思われる。

汚職が全国規模で構造的なものであることからすれば、想像を超える莫大な金額になっているかもしれない。しかもそれは非常に長期にわたるものである。

公立学校における児童生徒が使う教科書の採択は、国家の未来が託されたもつとも神聖と呼ばれるべき仕事である。

それがかかる構造的汚職の渦中にあつたことに関し、我々は司直がこれを厳しく取り締まり、摘発、逮捕がいつ始まるかと待っていたが、一向にその気配がない。また、公務員は刑事訴訟法で「その職務を行うことにより犯罪があると思量するときは、告発をしなければならない。」と規定されているが、現場から刑事告発する人々が現れる気配はない。そこで我々は、刑事訴訟法で「何人でも、犯罪があると思量するときは、告発をすることができる。」規定に従い、これを告発するべく『教科書構造汚職を糾弾し、告発する会』を立ち上げたものである。

これから、告発手続きを継続し、汚職糾弾活動を続けるものであるが、更に志しある各位に協力を要請するものである。我が国の教育の現状を憂う各位は、どうかこの運動に結集されよ。

平成 二八年 三月 八日

発起人 前衆議院議員

三宅 博

発起人 元大阪府立高校教師

南木隆治

発起人 和歌山市議会議員

浦平美博

発起人 主婦

浦平響子

発起人 京都の教育を良くする会事務局長

田中誠

発起人 新しい歴史教科書をつくる会奈良県支部事務局長

尾西健至